

4

リゾートホテルにおける 高効率空冷ヒートポンプチャラーへの更新による省エネ

この施設では、老朽化した重油焚吸収式冷温水機が年間を通して多くの燃料を消費していたことから、環境にも配慮した高効率空冷ヒートポンプチャラーに更新したことで大幅な省エネを図った事例です。

今回、更新するにあたり使用実態把握から空調ピーク容量の適正化を図るとともに利用可能な既存設備を有効活用することで、コスト最小化による燃料費・CO₂削減を達成しました。

改善効果

●従来のシステムと比較して

- ・年間一次エネルギー使用量：69%削減
- ・年間エネルギー費用：75%削減
- ・年間CO₂排出量：79%削減*

設備概要

●高効率空冷ヒートポンプチャラー

- ・180kW×10台（設置年：2023年4月）

※ 電力のCO₂排出係数：0.435kg-CO₂/kWh
A重油のCO₂排出係数：2.75kg-CO₂/ℓ

システム図

